

NEWS RELEASE

2018 年 7 月 9 日

**真夏に－35℃の極寒体験！
「マルちゃん夏休み親子大型冷蔵倉庫見学会」
実施のお知らせ**

2018 年 7 月 24 日(火)・25(水)

東洋水産株式会社（本社：東京都港区、社長：今村将也）では、神奈川県川崎市にある東扇島第一冷蔵庫で、夏休みの小学生親子を対象にしたイベント「マルちゃん夏休み親子大型冷蔵倉庫見学会」を開催致します。

同企画は、食品流通の仕組みや冷蔵倉庫の役割を楽しく学んでもらうことを目的とした地域社会貢献活動で、2015 年より始まり今年で 4 回目の実施となります。－20～－35℃の極寒の中で様々な実験を行いながら冷蔵倉庫の見学をします。寒い倉庫から出た後は、「赤いきつね」東西の食べ比べや当社冷凍食品の試食を行います。カップめんを食べて体を温めるとともに、「だし」の地域性についても学ぶことができます。

食品流通の学習・冷蔵倉庫での実験・食育 と充実した内容で、夏休みの自由研究にぴったりのイベントです。

過去の同企画の様子



凍らせたバナナで釘打ち実験



「赤いきつね」東西食べ比べと試食

親子で楽しく体験学習ができる“マルちゃんの冷蔵倉庫”ならではのイベントです！

- ① 海外から輸入された食品が食卓に並ぶまでの過程と、その中で冷蔵倉庫が果たす役割を学びます。
- ② 真夏の暑い季節に、真冬のアラスカ並みに寒い－35℃の冷蔵倉庫に入り、「シャボン玉」「濡れたタオルを振り回す」「凍らせたバナナで釘打ち」の 3 つの実験を行います。
- ③ 地域でつゆの味を変えている「赤いきつね」の東西食べ比べをします。

■企画概要

タ イ ト ル	マルちゃん夏休み親子大型冷蔵倉庫見学
対 象	小学4～6年生（保護者同伴） 各日30名程度 （募集はすでに締め切っております）
場 所	東洋水産株式会社 東扇島第一冷蔵庫 〒210-0869 川崎市川崎区東扇島 25-3
実 施 日	2018年7月24日（火）・25日（水）
時 間	9：20 JR川崎駅集合（貸切バスで移動） 10：00～10：30 冷蔵倉庫の役割について紹介（座学） 10：30～11：00 冷蔵倉庫内の見学・実験 11：00～12：00 「赤いさつね」東西味比べ・当社冷凍食品の試食 12：30 JR川崎駅解散 ※両日全時間帯で取材可能です。当日取材をご希望の方は、事前に CSR広報部（03-3458-5413）までご連絡をお願いいたします。

■当社の冷蔵倉庫事業の歴史について

1953年にマグロの買い付け等の水産業から始まった東洋水産は、創業から2年後の1955年、買い付けた水産物を保管するための自社冷蔵庫を神奈川県川崎市に保有し、冷蔵倉庫事業の第一歩を踏み出しました。最初の自社冷蔵庫は庫腹※300トンの小さなものでしたが、1957年に現在の本社がある東京都港区に庫腹1,500トンの冷蔵倉庫を新設したのを皮切りに、本格的に冷蔵倉庫事業に進出しました。その後事業は拡大し、北海道から九州まで全国に数万トンクラスの大型冷蔵倉庫を複数保有するまでに成長しました。現在では、国内21拠点、約54万トンの冷蔵倉庫ネットワークを形成し、業界第4位の庫腹量となっています。

川崎市は当社冷蔵倉庫事業発祥の地であり、現在も東京・神奈川地区の保管物流サービスを支える要所として、計3箇所の冷蔵倉庫があります。その中の一つの東扇島第一冷蔵庫は、1991年に竣工し、今年で28年目を迎えます。東京・神奈川地区の需要拡大に伴い、2014年には隣接地に新型冷蔵倉庫を増設し、6.3万トンの庫腹量となりました。時代とともに小ロット・多品種に変化してきたお客様のニーズに応えるため、自動倉庫システムを導入し、作業効率・精度・サービスを向上させた最新鋭の冷蔵倉庫です。



東扇島第一冷蔵庫

※庫腹とは、その倉庫の荷物を保管可能な容積を表します。（1トン＝2.5 m³）